

〔学術論文〕

形容詞の敬語表現と接頭辞「お／ご」の関連性について —日本語教育初級レベルでの導入を目指して—

A study of the relationship between adjective honorifics and prefix 「お／ご」

村田 志保

Shiho Murata

要旨：

「お忙しいですね。」「お元気ですか。」など、ごく自然に会話のなかで使われる。これらは形容詞の敬語表現であり使用頻度も高いのだが、日本語教育において、形容詞の敬語教育を体系的に導入している教材は数少ない。また「お／ご」の選択に関しても、「お」は和語で「ご」は漢語であるといった語種による判別しか今のところ基準はないので、その基準を導入せざるを得ない。しかし実際には語種だけでは判別しにくい、「？おもしろい」「？おシンプルな」「？危険な」というような、「お／ご」の付きにくい例もある。

本稿では初級教材で扱われている形容詞を抽出した約150語を初級形容詞とし形容詞の意味的な側面、そして文法的な側面より「敬語としての形容詞分類」、「形容詞の敬語表現」、「「お／ご」の付加」の3点を軸に考察を進め、2つの考察結果が得られた。「(お／ご)～て／でいらっしゃる」は「？社長のおかばんは大きくていらっしゃる。」のように、高めようとする人を主語にはせず、「もの」のときには「お／ご～です」を選択する傾向が強いことがわかった。また「お／ご」は初級形容詞の範囲では「外来語」「「お」で始まる語」には付かず、その他の条件である「モーラ数の多い語」「悪感情を持つ語」「ある意味の語」はあくまで付かない傾向にあるというに留まり、条件として提示するには例外も多いことがわかった。

キーワード：日本語教育 初級形容詞 形容詞謙讓表現 敬語形容詞分類 「お／ご」

はじめに

日本語教育において形容詞の敬語表現が体系的に導入された教材例は今のところ見つからない。日本語教育で代表的な教材である『みんなの日本語』（2005）でさえ形容詞の敬語表現が提示されておらず、初級後半で「お忙しいですね。」「お元気ですか。」など会話の表現として提示されるに留まっている。そこには、「お／ご」を付加さえすれば敬語になるため、形容詞の敬語表現を単語レベルで捉えればよく、体系的な指導の導入の必要性が低いという考えがあるのだ

ろう。しかし「お／ご」の付加は難しく、「一生懸命」は「ご一生懸命」になるのか、「お大きい」という表現は可能であるのかなど明確に提示されていないのが現状である。

形容詞の敬語表現について敬語表現を概観する代表的な先行研究は辻村（1992）、菊地（1997）、にあり、形容詞の敬語表現については細川（1995）がある。しかしどれも後述するような、高めようとする人に関する「もの」の記述にまでは言及していない。またこれらの先行研究は「お／ご」の付加判断を語種であると述べている。

接頭辞「お／ご」に関する研究は、三喜田（2003）、金（2004）などに見られる。三喜田（2003）では、接頭辞「お」が語に与える意味変化について研究されており、金（2004）では手紙文やスピーチなどで使用される「お／ご」の表現について研究されたものである。いずれも「お／ご」の判定基準に直接関わる研究となっていない。中西（1995）では、判定基準は語種にあるとしている。しかし一部には「おきれいな」「お元気な」など「お」が漢語につくケースも多数ある。梅原（1995）では「名詞の敬語法」を取り上げ、「お／ご」については語種によって判定されるが例外も多いと説明されている。実際には和語であっても「大きい」「四角い」「危ない」「危険な」「おもしろい」などは付きにくい可能性を持つという傾向が見られる。原則については、柴田（1957）により語種以外の「お」の付きにくい傾向がアンケート調査により見出されており、この調査は後に示す『待遇表現』（1993）にも整理されて引き継がれている。大原則は語種であっても、例外が多いという先行研究に基づき、「お／ご」の付かない傾向を再考し、初級で提示できるように整理したい。

「お／ご」の付く名詞については村田（2009）で考察を行い、用法分類を行った。その発展として、本稿では形容詞の敬語表現を研究することにした。そこには名詞だけでは考察できなかった「お／ご」の付加判断、さらには名詞の敬語表現としても可能である「お／ご～です」の敬語表現を「（お／ご）～て／でいらっしやる」と比較することにより、主語の範囲を制限できるのではないかと考えた。

本稿では先行研究と同様に、「お／ご」が付くか付かないかの厳密な判定基準を明らかにするものではなく教育現場での指導のために「お」の付けられない条件を提示すること、形容詞の敬語表現の用法を明らかにすることを目的とする。

1、初級レベル形容詞の敬語表現

まずは初級における形容詞を限定するため、初級レベルの教科書より形容詞を抽出した。対象教材は7種類であるが、教科書ごとに巻数が異なるため冊数は合計16冊が対象となっている。日本語能力試験3級¹の過去問題についても考察したが、そこから抽出した形容詞はすべて初級教

1. 日本語能力試験はN1～N5でレベル分けされており、N1に進むほど抽象的な日本語が理解できるとされている。N3は日常的な場面での日本語がある程度理解できるレベルである。

（国際交流基金日本語能力検定HP参照 <http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>）

材で網羅されているため、本稿では区別せずに扱っている。

表 1：初級形容詞に関する教材分析

教材	みんな I・II	げんき I・II	Jbridge I・II	Japanese for busy people I II III
感情・感覚形容詞	30語（イ形容詞25語、ナ形容詞 5語）	26語（イ形容詞20語、ナ形容詞 6語）	18語（イ形容詞14語、ナ形容詞 4語）	29語（イ形容詞21語、ナ形容詞 8語）
属性形容詞	95語（イ形容詞56語、ナ形容詞39語）	46語（イ形容詞27語、ナ形容詞19語）	66語（イ形容詞43語、ナ形容詞23語）	64語（イ形容詞35語、ナ形容詞29語）
合計	125語	72語	84語	93語
教材	初級日本語 上、下	SITUATIONAL FUNCTIONAL JAPANESE I II III	A COURSE IN MODERN JAPANESE I II	
感情・感覚形容詞	37語（イ形容詞30語、ナ形容詞 7語）	21語（イ形容詞15語、ナ形容詞 6語）	22語（イ形容詞16語、ナ形容詞 6語）	
属性形容詞	91語（イ形容詞52語、ナ形容詞39語）	74語（イ形容詞46語、ナ形容詞28語）	57語（イ形容詞32語、ナ形容詞25語）	
合計	128語	95語	79語	

『みんなの日本語 I・II』（2005）『初級日本語上・下』（1993）は100語を越えているので、他と比較しても多めとなっている。形容詞の分類別にみると、属性形容詞のイ形容詞が多く、ナ形容詞はどの形容詞もイ形容詞の半分以下となっている。感情・感覚形容詞のナ形容詞はどの教科書においても4～8語と数にさほどばらつきが見られない。

本稿では初級レベルでの敬語表現導入を提案するため、これらの形容詞の異なり語数約150語を分析の対象とし、考察を進めていきたい。

1-1：日本語教育における敬語表現の扱いについて

初級における形容詞敬語表現の扱いはどのようになっているのだろうか。形容詞の敬語表現を考察するにあたり、特定形（「召し上がる」「いらっしゃる」「お目にかかる」など）を除く動詞の敬語表現である「お／ご～になる」、「お／ご～する」、その他形容詞の敬語表現、の3点の導入に関して考察する。動詞の敬語表現は形容詞の敬語表現と共通点をもっているため分析対象とする。

表 2：初級レベルにおける動詞、形容詞の導入

（対象教材：初級教材）

教材	「お～になる／する」	「ご～になる／する」	形容詞の敬語表現導入
みんなの日本語	○	「ご覧になる」	会話：「お忙しいです」「どうぞお大事に」
げんき	○	○	お～：お名前、お好き、お元気、おたばこ お忙しい
文化初級日本語	○	○	×

基礎日本語文法教本	○	「ご覧になる」 「ご存知です」	×
はじめよう日本語初級	○	「ご覧になる」	会話：「お好きですか」
J Bridge	○	「ご覧になる」	表現：「お忙しいところ」 「お急ぎのところ」
初級日本語	○	○	「お元気で」「お元気ですか」 「お大事に」「お楽にどうぞ」
A COURSE IN MODERN JAPANESE	○	「ご覧になる」 「ご存知です」	Prefixes:お-andご 「お元気ですか。」
SITUATIONAL FUNCTIONAL JAPANESE	○	○	2. Thanking for a favour 「すみません、お忙しいのに」

どの教材においても、「お～になる／する」は導入されているが、「ご～になる／する」になると半分の教材が導入されておらず特定形の提示にとどまっているため、生産性を持たない表現と思われる可能性がある。形容詞の敬語表現においてはすべての教材で体系的に導入されることはなく、語句の提示や会話表現での導入になっている。

1-2：形容詞の敬語表現

形容詞の敬語表現は、「お忙しいですね。」「ご立派な方」のように「お／ご+形容詞」の形で使用する。日本語教育での導入へ向けて敬語表現を機能別に整理し提示していく。菊地（1997）では次のように説明されている。

表3：菊地（1997）による尊敬語と謙讓語

尊敬語
「お忙しい」「お若い」「お好き」「お嫌い」「ご熱心」「ご立派」「おきれい」「お上手」「お元気」など 「お忙しいですか」「ご熱心ですね」「…くていらっしゃる」（形容詞） 「…でいらっしゃる」（形容動詞）（「お／ご」の組み合わせも可）
謙讓語
「おうらやましい」「おなつかしい」など、高めようとする人に対する話者の気持ち 「お+形容詞音便形+ございます」（「お暑うございます」など）

初級において音便形を習得することは負担だと考えられるため、本稿では謙讓表現である「(音便形)+ございます」を除いて考察を進めたい。また謙讓表現として「おうらやましい」「おなつかしい」があげられているが、尊敬語と同じ「お／ご～です」という形をつかってこれらの形容詞を表現できる。

先生こそお珍しいですね、何時も眼の廻るようなご多忙さだと伺っておりますのに

「白い巨塔」山崎豊子 新潮社

この「お珍しいです」という表現は、話し手の「珍しい」という気持ちが「先生」へ関わるので、謙讓表現となる。しかし「～て／でいらっしゃる」を用いるとどうだろうか。

- * 「先生がこちらにいらっしゃるなんて、お珍しくていらっしゃいますね。」
- * 「社長がそんなことをされるなんて、お恥ずかしくていらっしゃいますね。」

形容詞の意味的としては「珍しい」「恥ずかしい」が話し手の感情をあらわすので、「そう」「がる」を後接し話し手以外の感情とすれば尊敬表現を表せる。「嬉しい」「悲しい」などの形容詞との違いは、どちらも話し手の感情を表せるが、「嬉しい」「悲しい」という感情が高めようとする人に関わらないため謙譲表現とできない点にある。一方、「～て／でいらっしゃる」は必ず話し手以外の高めようとする人の状態を表すので謙譲表現を表せない。そこで、謙譲表現として尊敬語と同じ「お／ご～です」のみ用いることができるとする。

謙譲表現が表せるのは話し手の状態を表す「懐かしい」「恥ずかしい」「うらやましい」「珍しい」「かわいそうな」「気の毒な」に限られ、そのほかの形容詞では表すことができない。形容詞の敬語表現は形容詞の意味によって尊敬と謙譲のどちらの表現に使えるかが異なるのである。

初級形容詞の敬語表現は以下のようにまとめられる。

表 4：形容詞の敬語表現

尊敬語	「お／ご～です」 「(お／ご) ～て／でいらっしゃる」
謙譲語	「お／ご～です」 (「あやしい」「懐かしい」 ² 「恥ずかしい」「うらやましい」「珍しい」「かわいそうな」「気の毒な」)

「お／ご」の付加については、「て／でいらっしゃる」では付けなくても可能だが、「お／ご～です」では「です」によって尊敬を表すことができないため、「お／ご」が必要となる。

おの付いた形	付かない形
「お忙しくていらっしゃる。」(尊敬語)	「忙しくていらっしゃる。」(尊敬語)
「お忙しいです。」(尊敬語)	「忙しいです。」(丁寧語)

表 5：「お／ご～です」「(お／ご) ～て／でいらっしゃる」の異なる点

	謙譲表現	お／ご
「お／ご～です」	○	○
「～て／でいらっしゃる」	×	△(付けても付けなくてもよい。)

2. 「懐かしい」は初級教科書に含まれていない。

2、初級形容詞と「お／ご」について

「お／ご」は前述のように文法的な規則はなく緩やかな基準であるため、現在の使用状況として「おきれいな」のような漢語、さらに名詞では付かないとされる外来語に「お」を付けることもまれにある。

中西（1995）などの先行研究によると「お／ご」は語種によって区別できると述べられている。現在、大原則としては語種であるとされているが、「お元気な」「お上手な」などのように漢語に「お」の付く例外も多数ある。教育現場においては、語種の判断を導入しても例外が多くなると、教師側も語種を提示しにくい。その例外を少しでも減らすために、本稿では『日本語教育指導参考書2 待遇表現』（1993）「お（ご）の付け方」の判断基準のどれを重視すべきか考える。

2-1：大原則である語種について

まずは「お／ご」の大原則である和語か漢語かという語種について再考していきたい。「お」の付かない形の初級形容詞の語種を『日本語教育のための基本語彙調査』（1984）に基づき判定し、形容詞の語種の判断を行った。

語種による形容詞分類

イ形容詞…漢語0語 和語89語 ナ形容詞…漢語43語 和語12語³

混種語⁴ 5語（「かっこいい」「大好きな」「大嫌いな」「すてきな」「だめな」）

外来語 3語（「モダンな」「シンプルな」「ハンサムな」）

イ形容詞は漢語がなく、すべて和語である。それに対してナ形容詞はすべて漢語というわけではなく、和語も数語混在している。「お」の付きうる漢語は多数見られるが、「ご」の付きうる和語は「ごもっとも」「ごゆっくり」など以外にはないため、イ形容詞には一般的には「お」が付きうるとしてよいだろう。しかし「おもしろい」「つまらない」など、語種に関係なくつきにくい語も見られる。またナ形容詞には和語に「お」の付く語のほかに、漢語に「お」の付く語（「きれいな」「元気な」「上手な」「邪魔な」）、さらに「大嫌いな」などの「お／ご」の付かない語が見られる。以下には語種基準の例外を除いた「お／ご」の付かない語について考察していく。

2-2：初級に適する語種以外の「お／ご」の付かない条件について

語種以外の「お／ご」が付かないとされる条件について、「日本語教育指導参考書2待遇表現」（1993）「お（ご）」の付け方に基づきどの条件がより重視されるかの傾向を見出ししていく。

3. ナ形容詞の和語：「嫌（いや）な」「嫌いな」「好きな」「幸せな」「静かな」「すてきな」「大嫌いな」「大好きな」「苦手な」「にぎやかな」「暇な」「楽な」

4. 混種語とは、「和語+漢語」「漢語+和語」のように語種の異なる語の組み合わせを指す。

【例外について】

表6：『日本語教育指導参考書2 待遇表現』(1993)「お(ご)」の付け方

「お(ご)」の付く場合	「お(ご)」の付かない場合
<ul style="list-style-type: none"> ★相手の物事を表す「お」「ご」 ★真に尊敬の意を表わす場合 ★慣用が固定している場合 ★自分の物事ではあるが、相手の人に対する物事である関係上、それをつけることに慣用が固定している場合 	<ul style="list-style-type: none"> ★外来語⁵ ★「お」で始まる語⁶ ★モーラ数の多い長い語 (「×おえはがき」「×おおぼえがき」) ★下品・悪感情の語 ★ある意味の語(色、自然に関する語)

【例外の傾向について】

「お／ご」の付いた形の形容詞がどのぐらい使用されているのかをインターネット用例、現代日本語書き言葉均衡コーパス「少納言」(以下KONOTOHA)、小説12冊を用いて調査を行った。

内省は考慮していない。付いた例があったか、なかったかだけを基準とする。

緩やかな基準であるため付きうるはずであるにもかかわらず、付いた例のなかった形容詞が見つかった。それと初級形容詞と付き合わせた結果を以下に提示する。

イ形容詞

青い*、明るい、暖かい*、新しい*、危ない、あやしい、いい、薄い、うまい、うるさい、おいしい*、多い*、大きい*、おかしい*、遅い*、おとなしい*、重い*、おもしろい*、かっこいい*、悲しい、辛い、かわいい、汚い*、細かい、濃い、こわい、四角い、白い、少ない、すごい、涼しい、すばらしい*、正しい、つまらない*、眠い、低い、ひどい、欲しい、細い、まずい*、丸い、易しい、軟らかい*

ナ形容詞

意地悪な*、一生懸命な*、いろいろな*、がんこな*、簡単な*、危険な、貴重な、急な、残念な*、十分な*、深刻な*、シンプルな*、すてきな、大嫌いな*、大丈夫な*、大好きな*、だめな、適当な*、特別な*、ハンサムな*、複雑な*、変な、便利な、まじめな、無駄な、モダンな*、有名な*

「*」の付いた語は、「お／ご」が付きにくい条件に当てはまる語である。モーラ数は言いきりの形で語尾の「い」「な」を含め5モーラ以上の語で判定した。先行研究の「お／ご」の付かない条件と照合すると、以下ようになる。

5. 名詞については「おビール」「おサイズ」などが見られる。

6. 動詞については「お置きになる」など、「お」で始まる語にも付く。

表7：「お」の付かない初級形容詞

外来語	シンプルな、ハンサムな、モダンな
「お」で始まる語	おいしい、多い、大きい、おかしい、おしゃれな、遅い、おとなしい、重い、おもしろい
モーラ数の多い長い語	暖かい、新しい、かっこいい、すばらしい、軟らかい、意地悪な、一生懸命な、いろいろな、簡単な、残念な、十分な、深刻な、シンプルな、大嫌いな、大丈夫な、大好きな、適当な、特別な、ハンサムな、複雑な、
下品・悪感情の語	おかしい、まずい、変な
ある意味の語 (色、自然に関する語)	青い

それぞれの条件に適する形容詞を数量的な判断を行うため、条件にあう「初級形容詞」、そこから「お」の付かない形容詞を算出し、以下に数を示し表にまとめた。

表8：初級形容詞「お」の付かない語の語数

	初級形容詞 語数	「お」の付かない語 語数	
外来語	3	3	100%
「お」で始まる語	9	9	100%
モーラ数の長い語 (5モーラ以上)	35	20 (外来語2語を含む)	57%
下品・悪感情の語	4	3	75%
ある意味の語	3	2	67%

それぞれの条件に適する形容詞から「お」の付かない語を調査し割合を計算した結果、「外来語」「お」で始まる語」は100%となった。初級形容詞においては、コーパス上「お」の付く語が見つからないため、このような結果となった。これらは「お」の付く形容詞の形態に関わる条件である。もちろん例外がないとはいえないが、初級においてこれらの条件については必ず付かないと提示しても、学習者に混乱は起きないであろう。

しかしその他の音韻的な条件である「モーラ数の長い語」、意味的な条件である「下品・悪感情の語」「ある意味の語」は形態的な条件と比較すると大変緩やかである。

語数順に付かない条件を並べると、以下のようになる。

【初級形容詞：「お／ご」の付かない傾向】



左から右へ、条件の割合が高いものから順になっている。「外来語」「お」で始まる語」がまず適用されてしまうと、「お」を付けられないという判断をされることになる。

最も緩やかな条件であるのは、「モーラ数の長い語」である。「モーラ数」の設定を5モーラ以上としたが、次の15語は5モーラ以上の語で「お／ご」が付き例外となる。

「忙しい」「美しい」「懐かしい」「恥ずかしい」「難しい」「珍しい」「安心な」「安全な」
「かわいそうな」「幸せな」「親切な」「心配な」「丁寧な」「にぎやかな」「必要な」

これらの語には「お／ご」が付けられるが、「必要な」はコーパス上「お／ご」ともに付けられていることを、ここで指摘しておく。またモーラ数を5と設定したが、6以上にすると表4の語が「お／ご」の付かない例外となり、上記の15語は例外ではなくなる。どちらの基準においても、例外の数が多いことは事実である。基準となる長さは、5ないし6というしかない。

以上、和語か漢語かという語種基準のほかに、付かない基準とされるものの傾向を考察してきた。初級の段階では、形容詞について形態的な条件である「外来語」「お」の付かない語」という二つの条件は提示するとよいだろう。

3、敬語形容詞の意味的な側面と文法的な側面について

3-1：敬語形容詞の分類

抽出した形容詞を敬語の側面から分類することを試みる。西尾（1972）では、属性形容詞、感情・感覚形容詞に大きく分類できるとしている。また八亀（2003）では「赤い」「大きい」という属性を話し手が評価的に結びつけるという点においてすべての形容詞に評価性が認められるとしながら、「質」「関係」「特性」などには恒常的な本質であるために時間的限定性がなく、「状態」「運動」は一時的な現象であるため時間的限定性があるとしている。この二本軸により形容詞の分類を行っている。

本稿では西尾（1972）、八亀（2003）に基づき、敬語としての形容詞を考えるため人にどう関

わかるかを考慮し客観性に焦点をあて分類していく。話し手が話し手以外の人またはものなどを評価するため、ある程度客観性を帯びなければ言い述べられないという側面を持つため、主観的な語とは区別しておく必要がある。

- | | |
|----------------------------|----------------|
| ① 高めようとする人の性質・性格 | 「大きい」「強い」など |
| ② 高めようとする人、話し手の感情・感覚 | 「懐かしい」「かなしい」など |
| ③ 高めようとする人の好み | 「好き」「嫌い」「嫌な」など |
| ④ 高めようとする人が付帯する「もの」や「コト」など | |
| ⑤ 多義的な語・揶揄的な語 | 「お寒い」「お偉い」など |

形容詞の敬語表現の主語になりうる語は高めようとする人、その人に関わるものやコトであるため「人」や「もの・コト」で第1分類し、さらに形容詞のもつ客観性と主観性より、客観的な性質から主観的な性質へと第2分類した。感情・感覚を好みと別にしたが、それは客観性を表す「そう」「がる」が後接できるかそうでないかで分けられるためである。そのため、②高めようとする人の感情・感覚は「話し手」ではなく話し手以外の人の感情・感覚となり、「そう」「がる」が後接しないと述べられない。

八亀（2003）にある「動作、状態」を表す形容詞については、初級の段階で動作に関わる形容詞は「忙しい」のみであり、分類項目として取り上げる必要はないと判断した。また「⑤多義的な語・揶揄的な語」は形容詞が持つ本来の意味から転じ、敬語であっても聞き手を揶揄するような働きを持つ語である。相手に与える印象が異なるため、別に分類する必要がある。

3-2：敬語表現と主語

角田（2010）によると所有者への敬意を、所有物を通して間接的に表現することがあり、この所有者敬語には次に述べる所有傾斜が見られるとしている。形容詞の敬語表現は「お／ご～です」「（お／ご）～て／でいらっしやる」であったが、これらは主語が人の場合と、人に関する「もの」の場合ではどちらを選択するのかは異なるのではないだろうか。「～て／でいらっしやる」は「いる」の尊敬語として形容詞の敬語表現を作り出すが、「です」は丁寧語でもあり「お／ご」を付加すれば尊敬語にもなりうる。丁寧語としても使用できるのであれば、「いる」よりは幅広い主語に対応できるのではないかと予想される。

本稿では角田（2010）に基づき、分離可能な所有物と高めようとする人の距離を基準に、「（お／ご）～て／でいらっしやる」と「お／ご～です」の表現がどの項目においても適するのかが用例（青空文庫、現代日本語書き言葉コーパス「少納言」（以下KOTONOHA）、小説等）を見ながら、確認していきたい。

表9：形容詞の敬語表現 用例

（*：用例が見つからないことを示す。）

所有傾斜項目	「お／ご～です」用例	「(お／ご)～て／でいらっしやる」用例
身体部分 属性 ⁷	①「いらっしやませ、カメライ様。相変わらず、お美しいですな」	⑧高須さまは、ほんとうにお若うていらっしやますこと、
衣類	②「こいさんらしいお可愛らしさで、お衣裳のお好みもおよろしゅうおますこと」	*
親族	③「亡くなった奥さまもお若く見えましたけど、」	*
愛玩動物	④「たぶんあなたのワンちゃんはまだお若いでしょう？」	*
作品 ⁸	⑤「こいさんは、なかなか日本料理がお上手やそうでおますな」 ⑥菅谷さんはメイクがすごくお上手ですよ。	*
その他	⑦「あなたのおうちの山荘、このお近くでしたわね、」	*

「お／ご～です」では、所有傾斜のどの項目においても用例が見つかっている。しかし「(お／ご)～て／でいらっしやる」では、「身体部分／属性」の用例しかなく、高めようとする人から分離できるものになると用例が見つからないため、「もの」主語の場合には使いにくくなるのだろう。初級では幅の広い「お／ご～です」のほうが、導入しやすいと考えられる。

表10：形容詞の敬語表現と形容詞分類について

敬語表現	形容詞分類
「お／ご～です」 「(お／ご)～て／でいらっしやる」	① 高めようとする人の性質、性格 ③ 高めようとする人の好み ⑤ 多義的な語・揶揄的な語
「お／ご～です」(謙讓表現)	② 話し手の感情、感覚
「お／ご～です」 主語：愛玩動物、作品など	④ 高めようとする人が付帯する「もの」や「コト」など

「お／ご～です」は「お／ご」の判別をしなければならない難しさは残るが、何が主語に立っても敬語表現になりうるという点においては、とても便利な表現である。

3-3：敬語形容詞の文法的側面について

最後に、敬語表現における形容詞と格との関係を考察しておきたい。森田(2008)によると形容詞の取る文の形は大きく分けると6通りあり、意味としては状態、属性、比較、関係、状況、

7. 身体部分、属性は高めようとする人から最も近い距離であるので、これらは同項目として扱う。

8. 高めようとする人が何らかの形で手を掛け作成された「もの」を示す。

有無、程度、感情・感覚を表せる。本稿ではそのなかで高めようとする人、もの、コトが主語になり「お／ご+形容詞+です」「(お／ご)+形容詞+て／でいらっしやる」を後接させ敬語表現が成立する形に限る。

また森田(2008)「(a) AハBニ／ニハ形(関係・状況) この服は弟には大きい。」としてとりあげている「ニ」は、『日本語文型辞典』(2003)によると「評価の基準」とある。またこれは「ニトッテ」でも言い換えることができるが、これを『日本語文型辞典』(2003)では「その立場からみれば」という意味で、人や組織を表す名詞をとる」と説明している。

形容詞の敬語表現

- ① Aハ+(お／ご)形容詞 A=高めようとする人
- ② Aハ+Bガ+(お／ご)形容詞 A=高めようとする人
- ③ Aハ+Bニ+(お／ご)形容詞 A=高めようとする人 B=コト、人
- ④ Aハ+Bト+(お／ご)形容詞 A =高めようとする人B=人(制限なし)
- ⑤ Aハ+Bニトッテ+形容詞 B=高めようとする人

例 文

- ① 先生はお忙しくていらっしやる。
- ② 社長は背が大きくていらっしやる。
- ③ 社長はメカにお詳しいですね。
- ④ 社長は私のともだちと親しくていらっしやる。
- ⑤ この車は社長にとって必要でいらっしやる。

①から④は必ず高めようとする人=Aとなり、敬語表現が成立する。しかし⑤の場合、A≠高めようとする人にはならずB=高めようとする人となり、間接的にかかわるときでも敬語表現となる。

小矢野(1980)によると、「ニ」をとる形容詞の文は、「適・不適のよりどころ」(「ふさわしい」「必要な」「適当だ」など)「対人的な態度」(「優しい」「親切だ」「丁寧だ」「失礼だ」など)「ものごとに対する態度」(「一生懸命だ」「熱心だ」「難しい」など)「対人的な感情」(「痛い」「悲しい」「嬉しい」など)「能力の発揮される対象」(「強い」「明るい」「詳しい」など)の4つであるとしている。③はこの「ものごとに対する態度」に相当し、⑤は「適・不適のよりどころ」に相当する。

「ニ」と「ニトッテ」の違いは主語にある。③の主語は高めようとする人となるが、⑤はそうではない。「高めようとする人」を基準に適切か不適切か話し手が判断するという表現となる。

また⑤のように「ニ」「ニトッテ」をとる初級形容詞は「安全な」「嫌な」「薄い」「狭い」「広

い」「簡単な」「危険な」「貴重な」「必要な」である。これらの形容詞は主語に高めようとする人をとらず、なおかつ「お／ご」の付いた用例が見つからなかった。これらは前述の「お／ご」の付かない条件には入っていない。高めようとする人に直接的でなく間接的にかかわり、また「お／ご」もつかない。

ま と め

形容詞の敬語表現を早い段階で導入できるよう、対象とする形容詞を初級に限定し、意味的な側面と文法的な側面の考察を進めてきた。形容詞の敬語表現には人と、人にかかわるものを主語とする2つのパターンがあり、これらは主語や機能によって区別される。基本的には「(お／ご)～て／でいらっしやる」は人に対して使うことができるが、「お／ご～です」は幅広く使うことができる反面、必ず「お／ご」を付加しなければならない。その付加基準は、初級段階で語種以外は「外来語」と「お」で始まる語も付かない条件と提示してよいと言える。

教育現場で導入する際、初級段階では尊敬表現に焦点を当て、制限の少ない「お／ご～です」の表現を文法的に導入すると同時に、「お／ご」の付加判定基準として、語種基準とともに「外来語」「お」で始まる語は付かないことを明示すべきである。

今後は「うれしそうでいらっしやる」「かなしそうでいらっしやる」など聞き手、または第三者の感情をあらわす感情形容詞、感覚形容詞と「そう」が後接した敬語表現、また「うれしがっていらっしやる」など「がる」を後接し、形容詞を動詞化した形の敬語表現について考察を進めていきたい。

参考文献

- | | | |
|-------|------|--|
| 梅原恭則 | 1995 | 「名詞の敬語法」國文學 解釈と教材の研究 40巻 學燈社 |
| 菊地康人 | 1997 | 『敬語』 講談社学術文庫 |
| 金東奎 | 2004 | 「手紙文」と「スピーチ」から見た敬語接頭辞「お・ご」を用いた「敬語表現」の使用様相 『早稲田大学日本語教育研究』4, |
| 小矢野哲夫 | 1980 | 「に格をとる形容詞文について」
『日本語 日本文化9』大阪外国語大学研究留学生別科 |
| 柴田 武 | 1957 | 「おの付く語 付かない語」『言語生活9』筑摩書房 |
| 辻村敏樹 | 1992 | 『敬語論考』 明治書院 |
| 角田太作 | 2010 | 『世界の言語と日本語 改訂版』 くろしお出版 |
| 中西泰洋 | 1995 | 「接頭辞「お」と「ご」について」大阪千代田短期大学紀要 24号 |
| 西尾寅弥 | 1972 | 『形容詞の意味用法の記述的研究』 秀英出版 |
| 文化庁 | 1993 | 「日本語教育指導参考書2 待遇表現」 大蔵省印刷局 |

- 細川英雄 1995 「形容詞・副詞の敬語法」國文學 解釈と教材の研究 40巻 學燈社
- 村田志保 2009 「日本語教育での接頭辞「お」の付く語」名古屋市立大学大学院人間文化研究科紀要12号
- 森田良行 2008 『動詞・形容詞・副詞の事典』 東京堂出版
- 三喜田光次 2003 「語の意味に関わる接頭辞「お(ご)」について」外国語教育29号 天理大学語学教育センター
- 八亀裕美 2003 『日本語形容詞の記述的研究—類型論的視点から』 明治書院

教材

- 『A COURSE IN MODERN JAPANESE [REVISED EDITION]VOLUME TWO』 2002
名古屋大学日本語教育研究グループ
- 『Japanese for busy people I・II・III』 2006 国際日本語普及協会 講談社インターナショナル
- 『J.BRIDGE for Beginners vol.1・2』 2009 小山悟 凡人社
- 『SITUATIONAL FUNCTIONAL JAPANESE』 1992 筑波ランゲージグループ
編著 凡人社
- 『初級日本語』 第4刷 1993 東京外国語大学日本語教育センター
- 『初級日本語 げんき I・II 改訂版』 2011 JapanTimes
- 『文化初級日本語』 1987 文化外国語専門学校
- 『新装版 基礎日本語文法教本』 2011 西口光一 アルク
- 『はじめよう日本語初級2 メインテキスト』 2006 スリーエーネットワーク
- 『みんなの日本語初級 I・II』 2005 スリーエーネットワーク

使用コーパス

青空文庫 <http://www.aozora.gr.jp/>

KOTONOHA 「現代日本語書き言葉均衡コーパス」少納言

<http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/>

用例出典①～⑧

① KOTONOHA Whydunit ユール著

集英社 http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/search_result

② 「華麗なる一族 (一) (山崎豊子全集10)」山崎豊子 新潮社

③ 「院長の恋」佐藤愛子 講談社

④ KOTONOHA Yahoo 知恵袋 http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/search_result

- ⑤「女系家族（山崎豊子全集4）」山崎豊子 新潮社
- ⑥ Top Yell 8月号
- ⑦「女系家族（山崎豊子全集4）」山崎豊子 新潮社
- ⑧「華麗なる一族（一）（山崎豊子全集10）」 新潮社